

第5回京都造形芸術大学通信教育課程卒業生・修了生全国公募展へのお誘い

2014年8月17日(日)～8月23日(土)11:00～18:30

但し8月23日(土)は18時に終了

会場 **ギャルリ・オーブ** (京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス内 人間館1階)

2010年度に第1回の全国公募展を開催してから5年連続となります。

2001年度に通信教育部第1期卒業生125名が卒業してから、その数は4,000数百名にのびります。

現在13コース有ります (芸術学・歴史遺産・文芸・和の伝統文化・日本画・洋画・陶芸・染織・写真・情報デザイン・建築デザイン・ランドスケープデザイン・空間演出デザイン)

日本画、洋画、陶芸、染織、研究系のポスターセッションなどが中心ですが、短編映画やアニメーション、建築模型や小説、エッセイ、全国公募展公式ポスターなど、いろいろな分野からの挑戦を楽しみにしています。 さらに! この第5回目では「箱 de アンパン部門」が加わります。

今回のテーマは 《風の誘い》

刻の流れ2014 (歩き ing スマホ前を向いて歩こう)

流行りとは、どうやって拡散していくのか? ロミ? 伝染? 風に乗って? 電車の中・電車待ち・自転車・街の中など、ありとあらゆるところでスマホを触っている。

最近、歩きながらのスマホがやたら増えたと気づいた。それこそが「風立ちぬ」の「ぬ」なのだ。風を感じる新しい誕生なのかもしれない。私もスマホに変えよっと!



風立ちぬ、このフレーズが再びひとびとの耳に立ち返ってきた。宮崎駿監督の映画作品の名として。その前はきっと堀辰雄の作品だった。源を探ればどららもポール・ヴァレリーの詩「海辺の墓地」の一行にゆきつく。

Le vent se lève! ... il faut tenter de vivre!

堀の作品中では「風立ちぬ、いざ生きめやも」と訳されていた。肝心の「tenter (試みしてみる)」が訳されていないくらいはあるが、風が起るその瞬間を聴いてしまったこころの動揺は間違いなく完了の「ぬ」に表わされているだろう。そうなのだ、風を感じてしまったら、新しい生を探検してみなければならない。風は誘うのだ。【学校側の説明の一部】

2011年1月に突然、股関節のリンパが見つかり、「悪性リンパ腫」の再発(8年ぶり)。

入院しての8回抗癌剤治療。2012年11月に喉のポリプ切除手術、12月毎週1泊2日の入院。抗がん剤治療。これが私を苦しめることになるとは? 知る由もありませんでした。それから1年半の長きにわたり、体調がすぐれませんでした。毎月の定期検診での血液検査では異常がなく、私がオーバーに言っているみたいで、しかも骨髓穿刺(せんし)検査(通常マルクといい、患者の間で恐れられている)と2月PET検査結果の判断でも異常なし。3月12日に「免疫グロブリン」検査では異常値が確認されましたが治療方法はないとの事。ギャフン! 今年9月にもPET検査予定です。

皆様の暖かいお力添えのお陰で、元気を頂いています。有り難うございます。

毎年参加している公募展とグループ展。今年2月「ZERO展」「なにわ美術展」。

5月「京都造形大学卒業生グループ展」と第5回京都造形大学公募展(応募書類に写真を添えて5月提出)は何とか出展できましたが5月3枚の100号制作はさすがにしんどかったです。

ノーベル賞『山中教授』が飲んだことで有名になった神戸の「福寿」の主催

「日本酒やお米がある光景・風景を描く」絵画コンテストで2年連続「優秀賞」を頂く事が出来ましたが、昨年からの、予算の関係上中止。それに代わって友達が知らせてくれたリリー・オンコロジー・オン・キャンパス「がんと生きる、私たちの物語」『絵画・写真コンテスト』に応募。見事落選(趣旨と違ったかも?)

2013年11月1日(金) 18:10~19:00 NHKTV 放映
【ニュースKOBEBE発】”ぶらり旅芦屋川に秋を訪ねて”
 芦屋川で絵を描いているところを取材されたものです。
 この時の絵を出しました。「郷愁(水彩)」
 インターネットで泉川博之と入れるだけで、
 1分30秒の動画が見られます。



その他、2月第18回大阪を描こう展「刻の流れ 渡しing」(趣旨違い)、7月ニューアート・ZERO会 0号展・第7回真夏のアートフェスティバル in ギャラリー菊、**第27回上野の森美術館「日本の自然を描く展」**
 上野の森美術館 2014年8月7日(木)~26日(火) [展示日8月17日~21日]・神戸原田の森ギャラリー
 10月1日(水)~5日・・・結局時間切れで、旧作品を提出。



ニューアート・ZERO会 ZERO展「ミクストメディア」

第7回真夏のアートフェスティバル in ギャラリー菊

芽吹く里

生きる力

第27回上野の森美術館「日本の自然を描く展」



「OOSAKA SKIing1」

「OOSAKA SKIing2」

「刻の流れ 2014-I」
(どこでもスマホ駅で)

「刻の流れ 2014-II」
(どこでもスマホ車中で)

ZERO 展



第11回なにお美術展「刻の流れ 2014」

京都造形大学卒業生グループ展

●**展覧会をご覧頂いた皆様の投票により「来場者賞」2点決定(8月23日(土)は投票なし)**
 非常に暑い折りですが、京都に遊びがてら見に来て頂けたら嬉しいです。
 勝手ながら、宜しくお願い致します。

私は、基本的に日・月・水・金は会場にいる予定です(12:00~16:00)。但し、私は人間館1階喫茶ルームか会場近か3F学食(別棟です。夏休みですので午後2時までです)にいる予定です。

身体の調子の都合で予定変更の可能性もありますので、メールかお電話よろしくお願い致します。

2007年度京都造形芸術大学洋画コース卒業

〒659-0041 芦屋市若葉町 2-1-423

泉川博之

メール アドレス : hiro-iz@syd.odn.ne.jp

携帯メール : hiro-iz1943@ezweb.ne.jp

携帯電話 090-8239-1588 電話/FAX 0797-32-3447